



さくら小 とくの日だより

令和7年3月19日 No.11



今年度もとくの日・さくらファミリーデー・道徳週間など、本校の道徳教育の取り組みにご協力いただき、ありがとうございました。道徳の教科書やノートを持ち帰りますので、子供たちがどんなお話を読んでいたのか、どんなことを書いたのかなど、1年間の積み重ねを一緒に。

1年間の振り返りとして、「感謝」ということで1人1枚書きました。校長室前に掲示してありますので、来校した際にはぜひみてみてください。

しゃしん

自分の人々の生活は多くの人々の支えがあることを考え、広く人々に尊敬と感謝の念を持つことを指導しています。各学年におうじて、以下の内容で指導しています。

低学年「家族など日頃世話になっている人々に感謝すること」

中学年「家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝緒気持ちをもって接すること」

高学年「人々の生活が学校や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること」

そこで、1年生では「はちさんのバッチ」という、くまのくんちゃんが、登下校時に散歩をしているさるのちゃんをいいなと思っていたら、その散歩は子供たちを見守っていることに気づき、感謝の気持ちを持つお話を扱いました。その後、身近な人で

校内授業研究会が行われました。2年1組の授業を紹介します。



教科書「水の広場」という教材で授業を行いました。ひどい言葉を友人から自分に向けられてしまい、自分の存在意義について悩む主人公の気持ちを中心に話し合いました。グループの友達と話し合ったり、意見を比べたりすることで考えを深めることができました。かけがえのない「命」の大切さについて考える良い機会となりました。

校内授業研究会が行われました。3年1組の授業を紹介します。



彩の国の道徳「わたしって何？」という教材で授業を行いました。ひどい言葉を友人から自分に向けられてしまい、自分の存在意義について悩む主人公の気持ちを中心に話し合いました。グループの友達と話し合ったり、意見を比べたりすることで考えを深めることができました。かけがえのない「命」の大切さについて考える良い機会となりました。

最後に、3学期に配られるあゆみには、道徳の評価の欄があります。学習してきたことを親子で振り返ることができるように、教科書の物語を一緒に読んでみたり、あゆみやワークシートからどんなことを考えたのか話をしたりする時間を設けていただければと思います。

今年度、とくの日だよりを読んでいただき、ありがとうございました。次年度も、さくら小学校の道徳教育・道徳科の充実をとおり、子供たちの道徳性をともに育めるよう、ご協力よろしくお願い致します。

